

社会福祉法人 丹波市社会福祉協議会
令和元年度事業報告

目次

(総括) 法人運営事業 令和元年度の取り組み	1
■法人の運営状況	3
正副会長会	
理事会	
評議員会	
監査会	
善意銀行運営委員会	
地域福祉推進部会	
介護保険事業等経営診断部会	
顕彰審査委員会・善意銀行表彰審査委員会	
障がい者就労支援事業ネットワーク会議	
支所運営協力委員会	
福祉委員会	
丹波市地域福祉活動促進計画評価・検証委員会	
丹波市ボランティア・市民活動センター運営委員会	
丹波市地域福祉計画推進協議会	
丹波市社協地域福祉推進計画（第4次）策定協議	
丹波市社協短期事業方針の策定	
丹波市社協地域福祉ビジョンの策定	
■研修および研修生受け入れの状況	5
■丹波市地域福祉活動促進計画に沿った令和元年度の取り組み	7
基本目標1 お互いを認めて育てる体制づくりをすすめます（認めあう）	
(1) 相互理解の推進	
①出張ふくし教室、出張介護教室の開催	
②広報紙『ふくしほっと通信』の発行	
③インターネット媒体の制作・運営	
④ふれあい・いきいきサロンへの活動支援	
⑤サマーボランティア体験教室の実施	
⑥障がい者就労支援事業（ちゃれんじスペース）の運営	

(2) 福祉教育の推進	9
①福祉教室の実施を支援するための助成	
②福祉教育推進会議の開催	
③福祉用具・備品の貸出し	
④丹波市ファミリーサポートセンターの運営	
⑤崇広アフタースクール・新井アフタースクールの運営	
⑥おもちゃライブラリーへの助成	
⑦市内保育園・認定こども園への助成	

(3) ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	11
①丹波市福祉送迎サービス事業（おでかけサポート）	

(4) 権利擁護の推進	11
①日常生活自立支援事業	

基本目標2 支え合いを大切にしたい地域づくりをすすめます（支えあう）	11
---	-----------

(1) 地域福祉のネットワークづくり	
①心配ごと相談所の開設	
②無料法律相談所の開設	
③地域福祉推進支援事業による地域福祉活動支援	
④生活支援コーディネーターの配置と生活支援サービス体制の整備	
●第1層協議体「丹波支えあい推進会議」開催状況	
●第2層協議体の設置状況	
●第2層協議体に対する社協からの事務支援の状況	
●くらし応援隊養成講座受講者の状況	
●くらし応援隊養成講座開催状況	
●くらし応援隊登録者の町域別登録人数	
●よろずおせっかい支縁センター・よろずおせっかい相談所の開設	
●丹波市いきいき百歳体操サポーターポイント制度管理	
⑤福祉バザーの開催	
⑥コミュニティカフェ運営支援事業（新規）	

(2) 地域福祉活動の人材の確保と育成の強化	16
①団体等が行う社会福祉事業への助成	
②福祉団体の事務支援および助成	
③丹波市ボランティア・市民活動センターの運営	
④ボランティア養成講座の開催	
●図書館サポーター養成講座	

●ボランティア入門講座	
●ふくしの伝え方講座	
●手話奉仕員養成講座基礎課程	
●手話奉仕員養成講座入門課程	
⑤介護職員初任者研修の開催	
(3) 各種団体との情報交換や連携の強化	19
①生活協同組合コープこうべ第4地区活動本部との協定・合意締結	
②ボランティアまつり開催経費の助成	
(4) 利用者本位のサービス提供	19
①点字・声の広報発行事業	
(5) 生活困窮者や就職困難者等に対する自立支援	19
①生活福祉資金の貸付	
②福祉資金の貸付	
③物品援助事業	
④たんば子ども食堂事業	
基本目標3 つながりが生みだす豊かな暮らしをめざします(つながる)	21
(1) 防災・減災など安心した地域づくりの推進	
①災害ボランティア支援事業	
②在宅寝たきり者世帯への歳末見舞品の贈呈	
③火災等見舞金の支給	
④独居高齢者に対する書状製作・発送	
(2) 地域ぐるみの健康づくりの推進	22
①ストップ! 要介護助成事業	
②いきいき百歳体操の運営支援	
(3) 丹波市ボランティア・市民活動センターの充実強化	22
①ボランティアグループに対する活動助成	
②ボランティア活動保険加入手続き事務	
③ボランティア活動に対する表彰推薦	

(総括) 介護保険等事業 令和元年度の取り組み	24
【高齢者介護サービス（委託事業を含む）】	25
①指定居宅介護支援事業	
②指定訪問介護（介護予防訪問介護）事業	
③訪問型サービスA事業	
④指定通所介護（介護予防通所介護）事業	
⑤通所型サービスA事業	
⑥指定認知症対応型通所介護（介護予防認知症対応型通所介護）事業	
⑦指定訪問入浴介護（介護予防訪問入浴介護）事業	
⑧要介護（要支援）認定訪問調査事業	
⑨介護予防ケアプラン作成事業	
⑩元気アップ広場事業	
⑪丹波市東部地域包括支援センター運営事業	
【障がい者介護サービス（委託事業を含む）】	34
①特定相談支援事業	
②指定居宅介護事業	
③指定同行援護事業	
④移動支援事業	
⑤基準該当生活介護（障がい者デイサービス）事業	
⑥訪問入浴サービス事業	
【その他の事業等】	36
①介護職員初任者研修（再掲）	
②障がい者就労支援事業（再掲）	
令和元年度事業所別稼働率	37

丹波市地域福祉活動促進計画目標に沿った令和元年度の取り組み（総括）

1. 地域支えあい体制整備の促進

- ・地域課題を丹波市全体で協議する場である「丹波支えあい推進会議」を6月、10月、1月に開催
- ・地域における課題を話し合う場の設置を進めるため、7月20日（土）春日文化ホールで「地域支えあいフォーラム」を開催。CLC全国コミュニティライフサポートセンター 池田理事長を招き講演、地域活動者の事例報告を受けた
- ・第2層協議体は25地区中15地区に設置。未設置地区についても設置の必要性を継続して説明し協議中
- ・丹波市まちづくり部の協力を得て「丹波市自治会長会理事会」で25地区の代表自治会長と2回懇談
- ・各地区民児協事務局事務の受託に係る協議は、丹波市と民児連の協議段階で休止中
- ・地域支えあい推進員が「県立柏原病院研修医との懇談会」で事業説明（毎月）
- ・くらし応援隊養成講座を8回開催。受講者は延べ59名で、新規会員の登録は6名。現活動者も再度学べるよう工夫した
- ・くらし応援隊員を増やすため、動画を制作し養成講座での活用やホームページに掲載

2. 地域につどいの場が広がる支援

- ・サロンより開催しやすく、手軽に始めやすい形式のコミュニティカフェを地域で立ち上げる運営支援事業（新規事業）は18カ所を支援、地域住民で継続して運営中
- ・昨年度より各支所単位でサロンの取材を行い、活動の様子などを記録した冊子を刊行し運営ボランティアへ支援した
- ・いきいき百歳体操は3月末現在、157カ所（前年度比31カ所増）

3. 次期地域福祉推進計画と長期ビジョンの策定

- ・概ね2、3年先を見据えた短期事業方針案を策定（9/27理事会で決定）
- ・丹波市の地域福祉計画と社協の地域福祉推進計画を同時に策定するため、地域福祉計画推進協議会が開催された。今後進めていくべき市民の福祉活動を示した社協の地域福祉推進計画は作業部会で協議し策定案を作成予定
- ・10年先を見据えた社協の長期ビジョン（地域福祉ビジョン）を策定（3/10理事会で決定）

4. ボランティア・市民活動センターの体制強化

- ・他団体等との連携によるネットワーク化の一環として、生活協同組合コープこうべと買い物支援に関する協定を締結。今後、ボランティア養成に関する連携も行っていく
- ・ボランティア・市民活動センター運営委員会を開催。コープこうべの取組みについて報告を受け、企業・団体間でも連携できるよう情報共有

- ・平成30年7月豪雨災害の教訓に基づき、災害発生時の職員行動マニュアル及び災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルを改正。引き続き丹波市と締結している協定の見直しを行っている
- ・6月4日、災害復旧支援備品の使用方法講習会を開催。社協職員と男性ボランティアの参加を得て、有事の際にボランティア活動につなげられるようセンター登録

5. 介護保険事業所の健全な経営体制の強化と東部地域包括支援センターの運営

- ・西部ケアマネジメントセンターは、要介護3～5の利用者を積極的に（月総数の40%以上）確保し、7～8月は特定事業所加算の変更を行った。利用者1件あたり1,000円の増
- ・西部デイサービスセンターは、4月より個別機能訓練加算及び認知症加算を取得し、利用者の心身機能の維持向上に努めた。利用者1日あたり1,160円の増（認知症加算を除く場合は560円）
- ・いちじま憩いの家は、今年度末に廃止する方針を示し、利用者及び関係機関へ周知を行った。3月31日の閉所式では、地元北岡本自治会等に感謝状を贈呈した
- ・7月9日、就職フェアin神戸に参加
- ・東部地域包括支援センターは、丹波市より委託を受け4月1日から業務を開始。春日・市島地域の高齢者を対象に、総合相談窓口として予防事業・予防支援ケアマネジメント、権利擁護事業を実施している。また、高齢者にとって暮らしやすい地域にするため、医療機関との交流、民生委員との意見交流会、福祉委員会の研修などに参加し、ネットワークづくりに取り組んだ

6. 職員研修の充実による次世代の職員養成

- ・新入職員に対し新任職員研修を実施
- ・7月末に役員・幹部職員・一般職員研修を開催。第2回目の同研修を9～10月にかけて開催
- ・8月に生活支援サービス体制整備事業研修・アイスブレイク研修を開催
- ・3月に広報研修を開催

7. 新型コロナウイルス感染症予防に係る対応

- ・1月末より情勢に対応した職員向けの予防啓発、利用者に対し社協事業所等の感染予防策の徹底を周知
- ・政府の緊急事態宣言発動後の会議中止・延期

■法人の運営状況

(1) 正副会長会（会長 1 名、副会長 2 名）

- ・ 毎月 1 回定例会を開催
- ・ 7 月に各支所において開催

(2) 理事会（理事 12 名、監事 2 名）

開催日	主な議案等
5 月 31 日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 30 年度事業報告 ・ 平成 30 年度一般会計決算 ・ 令和元年度一般会計補正予算（第 1 次） ・ 理事及び監事候補者の選任（理事 12 名、監事 2 名） ・ 評議員候補者の選定 ・ 定時評議員会の開催
6 月 25 日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評議員選任・解任委員会委員の選任 ・ 会長、副会長の選定
8 月 11 日（日）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東部デイサービスセンターにおける事故報告 ・ 臨時評議員会の開催
9 月 27 日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当面する短期事業方針の承認
12 月 26 日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役員等の報酬及び費用弁償規程の特例に関する規程の制定 ・ 理事候補者の選任（民生委員の任期満了に伴う改選） ・ 評議員候補者の選定（民生委員の任期満了に伴う改選） ・ 令和元年度一般会計補正予算（第 2 次）専決報告 ・ 令和元年度一般会計補正予算（第 3 次） ・ 臨時評議員会の開催
3 月 10 日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度一般会計補正予算（第 4 次） ・ 地域福祉ビジョンの承認 ・ 令和 2 年度事業計画 ・ 令和 2 年度一般会計予算 ・ 定時評議員会（※コロナ感染防止のため書面決議による開催を提案） ・ 事務局長の解任及び選任

(3) 評議員会（評議員 25 名）

開催日	主な議案等
6 月 25 日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 30 年度事業報告 ・ 平成 30 年度一般会計決算 ・ 令和元年度一般会計補正予算（第 1 次） ・ 理事及び監事候補者の選任（理事 12 名、監事 2 名）

開催日	主な議案等
8月21日（水）	・ 東部デイサービスセンターにおける事故報告
1月16日（木）	・ 役員等の報酬及び費用弁償規程の特例に関する規程の制定 ・ 理事候補者の選任（民生委員の任期満了に伴う改選） ・ 令和元年度一般会計補正予算（第2次）専決報告 ・ 令和元年度一般会計補正予算（第3次） ・ 地域福祉ビジョン骨子案
3月25日（水） ※コロナ感染防止のため書面決議による開催	・ 令和元年度一般会計補正予算（第4次） ・ 令和2年度事業計画 ・ 令和2年度一般会計予算

(4) 監査会（監事2名）

- ・ 5月15日（水）、11月29日（金）に開催

(5) 善意銀行運営委員会（委員6名）

- ・ 5月22日（水）、9月13日（金）、12月18日（水）、3月3日（火）に開催

(6) 地域福祉推進部会（部会員6名）

- ・ 5月22日（水）、9月13日（金）、12月18日（水）、3月3日（火）に開催

(7) 介護保険事業等経営診断部会（部会員6名）

- ・ 5月22日（水）、9月13日（金）、12月18日（水）、3月3日（火）に開催

(8) 顕彰審査委員会・善意銀行表彰審査委員会（委員6名）

- ・ 9月13日（金）、3月3日（火）に開催

(9) 障がい者就労支援事業ネットワーク会議（構成員11名）

- ・ 4月18日（木）、6月20日（木）、8月8日（木）、11月15日（金）、12月12日（木）に開催
- ・ 3月5日（木）はコロナ感染防止のため中止

(10) 支所運営協力委員会

- ・ 各支所において開催
- ・ 3月委員会はコロナ感染防止のため中止

(11) 福祉委員会

- ・ 各支所において開催

(12) 丹波市地域福祉活動促進計画評価・検証委員会

- ・ 7月26日（金）、8月28日（水）に開催

(13) 丹波市ボランティア・市民活動センター運営委員会

- ・ 8月23日（金）に開催
- ・ 3月12日（木）中止 委員に資料送付

(14) 丹波市地域福祉計画推進協議会

- ・ 4月26日（金）、2月14日（金）に開催
- ・ 3月17日（火）に最初の「地域福祉推進部会」を開催

(15) 丹波市社協地域福祉推進計画（第4次）策定協議

- ・ 3月17日（火）に開催

(16) 丹波市社協短期事業方針の策定

- ・ 総務、地域福祉、介護保険各部門の部会を開催
- ・ 9月27日（金）理事会で承認

(17) 丹波市社協地域福祉ビジョンの策定

- ・ 総務、地域福祉、介護保険各部門の部会を開催
- ・ 3月10日（火）理事会で承認

■ 研修および研修生受け入れの状況

(1) 役員・職員等研修

月 日	研修名	会 場	参加者
4/26	事業所職員研修（介護リフト）	東部デイサービスセンター	10
7/29	階層別研修（役員編・幹部職員編）	氷上健康福祉センター	30
8/1・2	階層別研修（一般職員編）		49
8/9	法人職員研修（生活支援体制整備）		14
8/22	法人職員研修（アイスブレイク）		21
8/29	事業所職員研修（交通安全）	柏原福祉センター	52
9/25	事業所職員研修（介助方法）	氷上健康福祉センター	21
9/26	事業所職員研修（認知症機能訓練）		44
10/4	階層別研修（役員編）		12
10/7	階層別研修（幹部職員編）		18
10/8・10	階層別研修（一般職員編）		45

月 日	研修名	会 場	参加者
12/10	職員全体研修（交通安全）	氷上健康福祉センター	74
1/15	日常生活自立支援事業専門員・生活支援員合同研修		16
1/21	職員研修（中間支援機能）		18
3/19	基本を学ぶ 伝わるチラシデザイン作成講座（社会福祉充実計画に定める広報研修）		21

（２）小児看護学実習生の受け入れ

（丹波市立看護専門学校より 7 日間、延べ 30 名の受け入れ）

受入日	受け入れ先	受け入れ人数	実習生所属先
5/14	崇広アフタースクール	4	丹波市立看護専門学校
7/2		5	
9/17		4	
10/8		5	
10/29		4	
11/13		5	
12/3		3	

■丹波市地域福祉活動促進計画に沿った令和元年度の取り組み (基本目標の推進方策と取り組み計画)

基本目標 1 お互いを認めて育てる体制づくりをすすめます(認めあう)

(1) 相互理解の推進

①出張ふくし教室、出張介護教室の開催(47自治会等で開催し、1,292名の方が参加)

自治協議会(自治振興会)、自治会や企業、サロンなどの団体等を対象に、住民自らが地域の福祉課題について考える機会となるよう、要望により対応しました。

地 域	のべ開催回数	のべ参加人数
柏 原	7	164
氷 上	15	581
青 垣	13	263
春 日	7	188
山 南	1	25
市 島	4	71
合 計	47	1,292

②広報紙『ふくしほっと通信』の発行(年6回)

市内各世帯や市役所などの関係機関などに対し配布しました。市民の方によりわかりやすく、柔らかい文面でお伝えすることに努めました。

③インターネット媒体の制作・運営

昨年度にホームページのリニューアルを行いました。日常の業務や行事等はこまめにフェイスブックに掲載しています。

くらし応援隊の動画制作を行い、ホームページに掲載し市民への啓発、養成講座での活用を行っています。

④ふれあい・いきいきサロンへの活動支援

地域で取り組まれるサロンの運営及び活動を支援するため助成しました。

助成以外にも、各支所においてサロン活動のための資料提供や、運営助言などを行いました。

昨年度より各支所単位でサロンの取材を行い、活動の様子などを記録した冊子を刊行し、ボランティア交流会の場等で活用しました。

サロン助成状況

地 域	助成件数 (うち新規助成件数)	助成決定額
柏 原	22 (0)	670,000
氷 上	44 (5)	1,685,340

地 域	助成件数 (うち新規助成件数)	助成決定額
青 垣	36 (2)	1,274,000
春 日	32 (0)	1,093,000
山 南	48 (4)	1,870,568
市 島	35 (0)	1,207,000
合 計	217 (11)	7,799,908

⑤サマーボランティア体験教室の実施（54回開催：延べ222名参加）

夏休みの期間中に児童・生徒達にボランティア体験をする機会を提供し、支え合いの心を育み少しでも福祉に関心を持てるよう、各支所で実施しました。

支 所	内 容	延べ開催回数	延べ参加者数
柏 原	ゆめわあく柏原のイベント手伝い、アフター スクールでのボランティア	22	96
氷 上	こうがやま児童館・西部デイサービスでの ボランティア体験	5	7
青 垣	手話体験、朗読体験	2	2
春 日	福祉とは、ボランティアって、赤い羽根共同 募金、福祉マーク、障がい者スポーツ体験 ・福祉体験(車いす体験、アイマスク体験、高 齢者疑似体験) ・手話を使って挨拶や自己紹介、会話の練 習・聴覚障がい者の方との交流	5	60
山 南	五輪荘夏祭り手伝い	1	12
市 島	市島地域内高齢者施設での話し相手や軽 作業、車いす誘導など	19	45

⑥障がい者就労支援事業（ちゃれんじスペース）の運営

丹波市春日庁舎内に設置した活動拠点「ちゃれんじスペース」に、自主製品販売コーナー、喫茶、障がい者相談コーナーを設け、各事業所の自主製品販売支援や障がい者就労体験を行うとともに、隔月にネットワーク会議を実施し事業所代表者による情報交換の場を提供しました。また、作業場を設置し、各事業所から派遣される利用者が市役所内の軽作業に従事しました。

業務内容	実績額	開設日数
自主製品の販売 (パン、手芸品、アクセサリ等)	734,620	150
喫茶	617,450	150
市役所内の軽作業	562,500	64
喫茶接客業務	44,378	20

【ちゃれんじスペースふれあいまつり】

開催日	会 場	主な内容	参加事業所
4/20	丹波市春日庁舎 市民ふれあい広場	自主製品販売、屋台、アルミ缶回収、子どもの広場(移動動物園、エアー遊具)等	9事業所

(2) 福祉教育の推進

①福祉教育の実施を支援するための助成

福祉教育助成事業 (29 校中 29 校へ、540,149 円の助成)

市内の小・中学校が取り組まれている福祉教育を支援するため、1校あたり2万円を上限として助成しました。

②福祉教育推進会議の開催

市内の小・中学校が取り組まれている福祉学習をさらに充実できるよう、福祉教育担当の先生を対象に取り組みました。

開催日	対 象	参加人数	内 容
8/21	市内小中学校 福祉教育担当職員	27	講義「子どもたちへの福祉の伝え方」 (講師：栗木剛氏)、実技「車いす体験」

③福祉用具・備品の貸出し

突発的なケガなどにより歩行が一時的に困難な方や学校の福祉教育で使用を対象とした車いすの貸出や、ふれあい・いきいきサロンなどへのレクリエーション用具の貸出をしました。

	本所	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	総合計
車いす延べ貸出し回数	13	20	45	31	28	39	12	188
レクリエーション用具延べ貸出し回数	12	102	104	84	217	104	94	717
福祉体験用具延べ貸出し回数	37	16	24	0	17	23	50	167

④丹波市ファミリーサポートセンターの運営

子どもを預けたい方、子どもを預かっていただける方が、それぞれセンターに登録し、アドバイザーがその調整を行っています。

(1) 講習会や研修会などの開催 (9回開催：延べ212名参加)

開催日	名 称	会 場	参加者数
4/24	サブリーダー研修会	柏原福祉センター	5
6/6	はじめまして交流会		36
7/8	フォローアップ講習会		17
10/2	サブリーダー研修会		5
11/8	子育て支援講習会		14

開催日	名 称	会 場	参加者数
11/12	子育て支援講習会	柏原福祉センター	12
12/16	クリスマス交流会		97 (親子 44 組)
1/30	協力・両方会員交流会		15
2/21	A E D 講習会		11

(2) 登録会員数 (3月末)

依頼会員	協力会員	両方会員	計
140	77	28	245

(3) 活動実績 (3月末)

活動延べ回数	活動延べ時間
386 回	404 時間

⑤ 崇広アフタースクール・新井アフタースクールの運営

崇広・新井小学校に在籍する1年生から6年生までの児童を対象に、仕事の都合等で放課後に保護者のいないご家庭を対象に崇広アフタースクールを受託しています。

崇広小学校延べ利用者数	17,947
新井小学校延べ利用者数	5,203

⑥ おもちゃライブラリーへの助成

市内2カ所で組織されている「おもちゃライブラリー」への活動助成を行いました。

グループ名	助成額
山南おもちゃライブラリーぴよんぴよん	15,000
かすがおもちゃライブラリーどりいむ	15,000

⑦ 市内保育園・認定こども園への助成

将来を担う園児の健やかな保育を支援するため、保育活動に使用する備品購入や地域との交流事業を目的として助成を行いました。

助成先	園児数	助成額
認定こども園ミライズにじ	203	101,500
認定こども園ミライズそら	151	75,500
認定こども園ふたば	229	114,500
認定こども園いくさと	201	100,500
認定こども園ぬぬぎ	87	43,500
認定こども園さちよ	108	54,000
認定こども園あおがき	164	82,000
認定こども園かすが花の子園	172	86,000

助成先	園児数	助成額
認定こども園かすが森の子園	179	89,500
認定こども園みつみ	167	83,500
認定こども園わだ	145	72,500
認定こども園あいいくの丘	156	78,000
認定こども園いちじまこども園	177	88,500
合 計	2,139	1,069,500

(3) ユニバーサルデザインのまちづくりの推進

①丹波市福祉送迎サービス事業（おでかけサポート）（受託事業）

一定の要件を満たし、事業登録をされた方の希望に応じて、各エリア単位に配置しているコーディネーターが予約受付と運行調整を行いました。

(4) 権利擁護の推進

高齢者や知的・精神障がい者等で判断能力が低下した方との契約に基づき、福祉サービスの利用を援助したり、日常生活における金銭管理を支援します。また、利用促進を図るため、本事業の周知に努めます。

①日常生活自立支援事業（兵庫県社協からの受託事業）

認知症や障害により、判断能力に不安がある方で、なおかつ、本人のサービス利用意思が確認できる方に対して、利用者の預金通帳や銀行等の届出印などの保管及び金銭管理、福祉サービスの利用手続きなどを行い、在宅で生活が続けられるよう支援をしました。

支 所	利用者 (名)	R1 新規 件数	R1 解約 件数	生活支援員 (名)
柏 原	7	1	4	3
氷 上	6	3	0	2
青 垣	3	1	0	2
春 日	7	0	0	2
山 南	0	0	0	2
市 島	3	1	0	2
合 計	26	6	4	13

基本目標2 支えあいを大切にした地域づくりをすすめます（支えあう）

(1) 地域福祉のネットワークづくり

①心配ごと相談所の開設

生活上の悩みごとなどについて、心配ごと相談員が助言を行い、必要に応じて関係機関へつなぎ、解決に向けた支援を行いました。柏原：10回6名、氷上：10回4名、青垣：10回4名、春日：9回11名、山南：10回4名、市島：10回3名

開設回数	59回
延べ相談者数	32名

②無料法律相談所の開設

兵庫県弁護士会所属の弁護士による、法的な相談のアドバイスを行いました。

開設回数	24回
延べ相談者数	134名

③地域福祉推進支援事業による地域福祉活動支援

地区を単位とした福祉活動を支援するため、計画段階からの相談や情報提供、福祉事業の提案や対象事業に対する助成金交付を行っています。

支所	校区名	助成額	事業内容
柏原	新井自治協議会	178,100	広報活動・講演会開催、子ども・子育て交流広場、高齢者お昼のつどい、ふれあいサロン、福祉・健康教室
	柏原自治協議会	66,326	やさしい福祉の町を目指す（広報紙の発行と講演会）、高齢者お昼のつどい
氷上	中央地区自治振興会	237,713	コミュニケーション麻雀、「高齢者お昼のつどい」淡路島ツアー、子ども食堂「にこにこキッチン」、和サポート会議
	沼貫地区自治振興会	105,000	沼貫地区区民交流会を兼ねた高齢者お昼の集い・福祉講演会
	幸世自治振興会	300,000	高齢者お昼のつどい
青垣	佐治地域自治協議会	160,000	高齢者お昼のつどい、グランドゴルフ大会、先進事例視察
	芦田自治振興会	171,000	高齢者お昼のつどい
	一般財団法人神楽自治振興会	200,000	高齢者お昼のつどい、夏休みしぐら学習教室
	遠阪自治協議会	256,275	高齢者お昼のつどい、囲碁大会、ふれあいサロン、健康講座Ⅰ、地域活動研修会
春日	黒井地区自治協議会	75,000	百歳体操後のお昼のつどい（サロン）グランドゴルフ、調理教室
	春日部地区自治協議会	227,905	百歳体操カフェ、ほぐし体操
	船城地区自治協議会	200,000	子育て支援事業、高齢者のお昼のつどい
山南	上久下地域自治協議会	80,000	独居高齢者宅に友愛弁当宅配・見守り活動、友愛弁当作成時の鍋、包丁購入
	久下自治振興会	249,294	小物作り教室、山南地域健康講演会、月曜サロン「脳トレーニング」
	小川地区自治振興会	300,000	ノルディックウォーキング、地区一斉ラジオ体操、山南地域健康講演会、音楽療法士によ

支所	校区名	助成額	事業内容
			る音楽イベント、健康ふれあいフェスタ グラウンドゴルフ大会、地区一斉防災訓練
山南	ふるさと和田振興会	146,000	立体型回転ボード「ピッタシ」購入、山南地域健康講演会、子育てリフレッシュ講座、ふれあいサロンたちばな3周年事業
市島	竹田地区自治振興会	300,000	高齢者お昼のつどい、生活支援サービス体制整備事業
	前山地区自治振興会	300,000	高齢者お昼のつどい、食育講座、交流サロン、花と緑の交流活動
	吉見地区自治振興会	130,431	高齢者お昼のつどい、生活支援サービス推進会議運営
	鴨庄地区自治振興会	300,000	支えあい活動、交流朝のラジオ体操、高齢者お昼のつどい、いきいき百歳体操、サロン憩いの場の設置、ワイワイ交流ふれあい大会
	美和地区自治振興会	226,623	いきいき美和の会、出張介護教室、ふれあいの会、生活支援サービス推進会議、高齢者健康づくり事業
合 計		4,209,667	

④生活支援コーディネーターの配置と生活支援体制の整備

昨年度に引き続き、地域の高齢者を地域住民が主体となって支えあうための協議の場づくりを進めています。現在、25地区中15地区で話し合いが行われ、地域支えあい推進員が運営を支えています。

●丹波支えあい推進会議（第1層）の開催状況

日時	会場	協議内容
6/21（金）14：00	春日福祉センター	事業所の紹介（委員所属）・地域支えあいフォーラムについて・第2層協議体について
10/30（水）9：30	氷上健康福祉センター	よろずおせっかい相談所について、課題の検討（移動、居場所、家庭での困りごと）
1/31（金）9：30	氷上健康福祉センター	各地区の話し合いの経過を発表、第2期委員の選出

●第2層協議体の設置状況（3月末現在）

地域	第2層協議体名	設置時期	主なメンバー
柏原	柏原地域支えあい推進会議	平成30年8月～	自治会長協議会、自治協議会、民生委員児童委員、一般住民
氷上	葛野地区生活支援サー	平成30年2月～	自治会長、民生委員児童委員、民生・

地 域	第2層協議体名	設置時期	主なメンバー
	ビス推進会議		児童協力委員、自治振興会
氷 上	中央地区和（なごみ）サポート会議	平成31年3月～	自治振興会、自治会、民生委員児童委員、ボランティア、PTA、一般住民
	沼貫地区自治会長・民生委員児童委員合同会議	令和2年1月～	自治振興会、自治会、民生委員児童委員、行政、地域包括支援センター
青 垣	SAJI ささえ愛推進会議	令和元年6月～	自治振興会、自治会、民生委員児童委員、ボランティア、行政、地域包括支援センター
	一般財団法人神楽自治振興会	平成31年4月～	自治振興会理事、評議員
春 日	春日部地区支えあい組織づくり委員会	平成28年12月～	自治会長、民生委員児童委員、民生協力委員、福祉委員、公民館主事、くらし応援隊等
	大路地区地域福祉委員会	平成30年7月～	消防団、校区事業部、民生福祉部、役員経験者、年代別委員、自治協議会役員
	黒井地区生活支援サービス推進会議	平成30年1月～	自治協議会、自治会長会、福祉委員、防犯協会、民生児童委員、更生保護女性会、いずみ会、老人クラブ連合会
市 島	前山地区自治振興会と地域住民の意見交換会	平成29年3月～	地区内のボランティア団体、前山地区自治振興会等
	竹田地区生活支援サービス推進会議	平成29年8月～	竹田地区自治振興会、自治会、民生委員児童委員、老人クラブ、あじさいの会等
	美和地区生活支援サービス推進会議	平成29年9月～	美和地区自治振興会、自治会、民生委員児童委員、民生児童協力委員、一般住民等
	吉見地区生活支援サービス推進会議	平成29年9月～	吉見地区自治振興会、自治会、民生委員児童委員、仲よし会、男女共同参画、介護保険事業所、有識者等
	鴨庄地区地域支援会議	平成29年2月～	自治振興会、自治会、民生委員児童委員、福祉委員、老人クラブ、ボランティア団体、NPO法人、PTA

●第2層協議体に対する社協からの事務支援の状況

第2層協議体の運営に関して、主に地域支えあい推進員が開催の相談、資料の提供、会議当日の支援、報告書の整理などを行いました。

●くらし応援隊養成講座受講者の状況

地 域	6/4	7/2	9/3	10/1	11/5	1/7	2/4	3/3	受講者計
柏 原	1	2	0	1	0	0	0	0	4
氷 上	1	0	1	0	5	6	7	5	25
青 垣	1	0	1	0	0	0	0	0	2
春 日	1	1	3	1	0	4	1	3	14
山 南	0	0	0	4	2	0	1	0	7
市 島	2	1	2	0	2	0	0	0	7
計	6	4	7	6	9	10	9	8	59
登 録	2	1	0	0	1	1	1	0	6

●くらし応援隊養成講座開催状況

要介護判定非該当、要支援1、2の方および基本チェックリストの該当者に、必要な家事援助サービスを行うくらし応援隊の養成講座を8回開催しました。

開催日	会 場	内 容
6/4・11/5	氷上健康福祉センター	丹波市の現状、くらし応援隊・ボランティア活動について/食中毒予防のポイント
7/2・1/7	柏原福祉センター	丹波市の現状、くらし応援隊・ボランティア活動について/コミュニケーション講座
9/3・2/4	春日福祉センター	丹波市の現状、くらし応援隊・ボランティア活動について/お掃除術
10/1・3/3	柏原福祉センター	高齢者向けのおかず作り

●くらし応援隊登録者の町域別登録人数（61名・3月末現在）

地 域	登録人数	地 域	登録人数
柏 原	6	春 日	10
氷 上	9	山 南	18
青 垣	7	市 島	11

●よろずおせっかい支縁センター・よろずおせっかい相談所の開設

今年度、社会福祉法人柏翔会（柏原）の設立に伴い、新しい認定こども園2か所によるろずおせっかい相談所の看板を設置しました。青垣地域、春日地域によるろずおせっかい相談所（箱）を設置しました。

●丹波市いきいき百歳体操サポーターポイント制度管理

地域のいきいき百歳体操を指導するボランティアサポーターを対象にしたポイント制度を開始

し、現場での活動1回ごとに1ポイント、最高50ポイントで5,000円が丹波市よりサポーターに振り込まれます。丹波市と役割分担し、社協ではポイント通帳の作成、開催場所とサポーターとのマッチング、ポイント精算時の処理を行っています。

(3月末)

エリア	登録サポーター数
東 部	16
南 部	19
西 部	19
合 計	54

⑤福祉バザーの開催

各支所単位で10・11月に開催しました。

地 域	実施日	収益額
柏 原	11月17日(日)	244,120
氷 上	11月24日(日)	256,100
青 垣	11月9日(土)	236,660
春 日	10月27日(日)	319,871
山 南	11月17日(日)	144,130
市 島	11月3日(日)	151,045
合 計		1,351,926

⑥コミュニティカフェ運営支援事業(新規)

地域の中に集いの場を増やしていくため、今年度より各支所単位で年間2～3の自治会等にコミュニティカフェ設置を支援する取り組みをはじめ、18ヵ所で支援を行いました。

地 域	開催自治会等
柏 原	古市場、南多田、上中町
氷 上	柿柴東、新田
青 垣	桧倉、奥塩久、徳畑
春 日	上三井庄、黒井地区自治振興会、古河
山 南	南中
市 島	石原、美和地区自治振興会、鴨庄地区自治振興会、勅使、市島、上垣

(2) 地域福祉活動の人材の確保と育成の強化

①団体等が行う社会福祉事業への助成(福祉団体等助成金交付)

各団体が自主性や主体性を生かした活動ができるように、次のとおり幅広く助成を行いました。

助成先	助成額	申請内容
社会福祉法人恩鳥福祉会 たんば園	200,000	エアコン更新
NPO 法人ひかみボルゴベネッセレ ワークホームもあ	100,000	パソコン更新
一般社団法人峰松農園 メガデルガーデン	250,000	ビニールハウス設置
NPO 法人友愛こぶし	146,000	保管庫、棚
NPO 法人バイオマスフォーラムたんば	297,320	動画配信設備
兵庫県立柏原高等学校	50,000	国際交流・料理教室
兵庫県立氷上高等学校	50,000	園児交流・施設訪問
兵庫県立氷上西高等学校	48,124	施設訪問・交流
兵庫県立氷上特別支援学校	49,680	花の苗購入
合 計	1,191,124	

②福祉団体の事務支援および助成

丹波市老人クラブ連合会ならびに下記の福祉団体のために専任の職員を置き、必要な事務支援を行いました。また、下記の通り活動助成を行いました。

助成先	助成金額
丹波市手をつなぐ育成会	80,000
丹波市身体障害者福祉協議会	200,000
丹波市特別支援教育研究部	120,000

③丹波市ボランティア・市民活動センターの運営(ボランティアの育成、受入れ、登録等)

ボランティア活動希望者を登録カードによって、ボランティア・市民活動センターで登録し、ボランティアを必要としている人や団体にスムーズにつなげました。

活動分野	団体数	登録人数
保健・医療または福祉の増進を図る活動	71	1,002
まちづくり活動	2	20
学術、文化、芸能、スポーツの振興を図る活動	27	404
環境の保全を図る活動	7	127
災害支援活動	1	37
地域安全活動	2	68
国際協力の活動	1	8
子どもの健全育成	8	97
情報社会	1	5
その他	3	96
合 計	123	1,864

④ボランティア養成講座の開催

●図書館サポーター養成講座

新たなボランティア活動の発掘とボランティアの養成を目的に、丹波市中央図書館との共催で昨年度に引き続き開催しました。

開催日	会場	内容	参加者数	登録者数
5/25	丹波市立中央図書館	図書館ボランティア活動に関する こと	4	6
6/15			2	

●ボランティア入門講座

ボランティアに関心があるが、何から始めたらいいかわからないという方を対象に開催しました。

第3講座では参加者の希望する団体へボランティア体験として、参加してもらい実際のボランティア活動について知ってもらうことができました。ボランティア体験後、2名がグループ登録されました。

開催日	会場	参加人数	内容
6/3	山南福祉センター	6	【第1講座】 ・市内のボランティア活動等について ・「ボランティア活動とは」 講師：田川雅規氏
6/3	氷上健康福祉センター	19	
6/7	春日福祉センター	15	
6/12	山南福祉センター	5	【第2講座】 「ボランティアに必要なコミュニケーション を身につけよう」 講師：波多江みゆき氏
6/14	春日福祉センター	22	
6/14	氷上健康福祉センター	17	
6月～8月	市内活動場所	11	【第3講座】ボランティア体験をしてみよう

●ふくしの伝え方講座

福祉体験学習(高齢者疑似体験やアイマスク、車いす体験)に従事するボランティアを養成しました。

相手とのコミュニケーションを図るうえで大切な共感について改めて考える機会となりました。ボランティアグループの紹介を行い、グループの活動を知っていただくことができました。

開催日	会場	参加人数	内容
7/23	氷上健康福祉センター	12	コミュニケーション術を学ぼう！ 講師：山崎清治氏
7/30		8	高齢者疑似体験や車いす体験をし、伝え方を学ぼう 講師：さんなん桜の里・四ツ葉グループ

●手話奉仕員養成講座基礎課程 (24回開催 受講生19名)

●手話奉仕員養成講座入門課程 (20回開催 受講生14名)

丹波市からの委託事業として、入門課程・基礎課程を開催し、手話の理解者を養成しました。

基礎課程：7月2日～12月17日まで

入門課程：7月25日～12月12日まで

⑤介護職員初任者研修の開催（20回開催 受講生11名）

地域における介護の担い手の養成と就労支援を目的に開催しました。

開催期間：5月19日～12月18日まで

（3）各種団体との情報交換や連携の強化

①生活協同組合コープこうべ第4地区活動本部との協定・合意締結

生活協同組合コープこうべと社協が買い物困難者等の支援事業をはじめ、地域の見守り活動の実施など市民の支援に取り組むことについて7月23日、「買い物困難者等に対応する支援協定」を締結しました。

この協定を基に、コープ柏原店が実施する「買い物もん行こカー」を啓発するため、地域のサロン等に紹介チラシを配布しています。

また、コープ柏原店が令和2年度より実施するフードドライブの常設化等の食品ロス・福祉活用策と、社協が行う生活困窮者支援を結びつけた「食品の無償提供に関する合意」を取り交わしました。

コープ柏原店が開催する「ねっとわーく連絡会」に地域支えあい推進員が出席し、各地域の状況や課題を協議しました。

②ボランティアまつり開催経費の助成

丹波市ボランティア協会柏原支部と青垣支部を除く4支部に助成を行いました。

開催日	主催	参加人数	助成金額
6/1	丹波市ボランティア協会春日支部	420	100,000
6/22	丹波市ボランティア協会氷上支部	300	100,000
10/23	丹波市ボランティア協会市島支部	200	100,000
11/2	丹波市ボランティア協会山南支部	370	100,000

（4）利用者本位のサービス提供

①点字・声の広報発行事業

視覚障害をお持ちの方に必要な情報を伝達するために、朗読・点訳ボランティアにより製作された丹波市や社協の広報紙等を利用者へ送る活動の活動費請求事務を行いました。

	計	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島
朗読利用延べ回数	194	11	63	44	44	32	0
点訳利用延べ回数	24	24	0	0	0	0	0

（5）生活困窮者や就職困難者等に対する自立支援

①生活福祉資金の貸付(兵庫県社協からの受託事業)

地 域	前年度末 貸付総件数	今年度新規貸 付決定件数	今年度末 完了件数	今年度末 貸付総件数
柏 原	17	1	1	17
氷 上	13	0	0	13
青 垣	2	0	0	2
春 日	13	0	0	13
山 南	9	3	0	12
市 島	1	0	0	1
合 計	55	4	1	58

②福祉資金の貸付

地 域	前年度末 貸付総件数	今年度新規貸 付決定件数	今年度末 完了件数	今年度末 貸付総件数
柏 原	5	0	1	4
氷 上	9	3	2	10
青 垣	0	0	0	0
春 日	2	0	1	1
山 南	1	1	1	1
市 島	0	0	0	0
合 計	17	4	5	16

③物品援助事業

民生委員の協力を得ながら、生活困窮者に当面の食料を中心とした生活物資を購入し、生活援助を行います。同時に生活保護を含む制度までのつなぎとして実施しています。

地 域	件数	援助額
柏 原	2	12,765
氷 上	2	19,270
青 垣	0	0
春 日	2	26,387
山 南	3	33,354
市 島	2	31,137
合 計	11	122,913

④たんば子ども食堂事業

食事を通じて子どもと地域がつながる場を作り、寂しさやしんどさを抱える子どもたちを地域で見守りはぐくむための取組み団体を支援しています。

初回決定年度	決定団体	開設準備経費	運営費支援		
			H29	H30	R1
H29	和楽	110,699	30,000	60,000	50,000
H29	春日部地区自治協議会	108,904	70,000	120,000	95,000
H30	ぬぬぎふれあい食堂	69,149	-	40,000	50,000
H30	どんぐり食堂	103,673	-	30,000	45,000
H30	いちべ子ども食堂	-	-	5,000	5,000
R1	さちよふれあい食堂	199,735	-	-	25,000
R1	さきやまキッチン	59,135	-	-	20,000

基本目標3 つながりが生みだす豊かな暮らしをめざします（つながる）

（1）防災・減災など安心した地域づくりの推進

①災害ボランティア支援事業

災害地での支援活動及び被災地の復興を目的とされる団体に対し、活動の一部を助成しました。

助成先	活動期間	行先	参加者数	助成金額（円）
災害支援 ボランティアネット丹	6月22日	岡山県倉敷市	12	80,000
	10月26日	真備地区	10	80,000

②在宅寝たきり者世帯への歳末見舞品の贈呈

歳末たすけあいの一環として、在宅介護をされている世帯に、民生委員を通じ見舞品を配布しました。

支所	配布世帯数
柏原	3
氷上	33
青垣	4
春日	20
山南	21
市島	26
合計	107

③火災等見舞金の支給

令和元年度の該当はありませんでした。

④独居高齢者に対する書状製作・発送

市内で生活されている75歳以上のおひとり暮らしの方に、ボランティアによる絵はがきなどを暑中見舞として発送しました。

支 所	暑中見舞		年賀状	
	発送者数	ボランティア 延べ人数	発送者数	ボランティア 延べ人数
柏 原	205	205	203	203
氷 上	320	125	299	120
青 垣	170	57	165	56
春 日	263	15	263	15
山 南	264	22	261	22
市 島	208	208	205	205
合 計	1,430	632	1,396	621

(2) 地域ぐるみの健康づくりの推進

①ストップ！要介護助成事業

いきいき百歳体操を実施しようとする、または実施している市内の自治会等に対し、開催に必要な物品購入費を助成しました。(総計 102 件)

年 度	H29 助成数	H30 助成数	R1 助成数
柏 原	0	2	7
氷 上	7	14	8
青 垣	2	6	8
春 日	11	5	1
山 南	6	8	3
市 島	2	6	6
合 計	28	41	33

②いきいき百歳体操の運営支援

丹波市がすすめている筋力トレーニング体操「いきいき百歳体操」の開催場所に地域支えあい推進員が出向き、運営の支援を行いました。ストップ！要介護助成事業で体操に必要な備品の購入補助を行いました。

また、いきいき百歳体操サポーター養成講座、サポーター交流会での運営支援、地域課題の聞き取りを行いました。

H31.3月末時点	126 ヲ所	R2.3月末時点	157 ヲ所
-----------	--------	----------	--------

(3) 丹波市ボランティア・市民活動センターの充実強化

①ボランティアグループに対する活動助成

ボランティアグループ等の事務補助や相談などの他に、ボランティア活動をするための助成を行いました。

助成先	グループ数	助成金額
丹波市ボランティア協会	1	100,000
丹波市ボランティア協会各支部	5	380,000
丹波市ボランティア協会所属グループ	51	891,200
丹波市ボランティア協会未所属グループ	44	524,900
合 計	101	1,896,100

②ボランティア活動保険加入手続き事務

兵庫県ボランティア・市民活動災害共済、ボランティア活動等行事用保険の申請窓口として必要な手続き業務を行いました。

③ボランティア活動に対する表彰推薦

ひょうご県民ボランティア活動賞の推薦を行い、個人4名、ボランティアグループ1グループが受賞されました。

(介護保険等事業)

■令和元年度の取り組み（介護保険等事業の基本的な目標と取り組み計画）

(1) 利用者本位のサービス提供と安定したサービス提供体制の確保

居宅介護支援事業所では、利用者やその家族が職員の対応に不安や不快を感じたとき、いつでも匿名で伝えられるよう全ての利用者にハガキを配布し、苦情等を速やかに収集できるよう改善しました。また、通所介護事業では、個別機能訓練加算や認知症加算を取得し、利用者の心身機能の維持向上に努め、レクリエーション等を通じて利用者が自己選択・自己決定しやすいように意識的に声かけを行いました。

安定したサービス提供体制を確保するため、訪問介護事業の常勤職員3名を増員し19名体制とし、新規利用者の受け入れを停止することがないよう人員を配置しました。

(2) 地域包括ケアシステムの一翼を担う運営

丹波市が進める医療機関ネットワーク構築に係る協定に基づき、在宅生活を支える医療・介護のサービス事業者や関係機関との連携を図りました。

また、社協が行う出張ふくし教室や出張介護教室に積極的に事業所の職員が関わり、介護予防の体操や介護サービスの紹介、介護技術の実演など専門性を活かし、地域住民に福祉への関心を高めさせていただくように努めました。

(3) 丹波市東部地域包括支援センターの運営

丹波市より委託を受け4月1日から業務を開始しました。春日・市島地域の高齢者を対象に、総合相談窓口として予防事業・予防支援ケアマネジメント、権利擁護事業を実施しました。また、高齢者にとって暮らしやすい地域にするため、医療機関との交流、民生委員との意見交流会、福祉委員会の研修などに参加し、ネットワークづくりに取り組みました。年間相談件数は延べ496件、介護保険サービスや認知症、権利擁護の相談が多く、家族や関係機関等からの相談に対応しました。

(4) 介護保険事業経営改善に向けた取り組み

いちじま憩いの家及び訪問入浴サービスセンターの短期事業方針を策定し、他事業所等については、長期事業方針として検討しました。いちじま憩いの家は、認知症対応型通所介護事業所としての一定の社会的役割を果たしたと判断し、今年度末に廃止する方針を利用者や関係機関へ周知のうえ、3月31日の閉所式をもって廃止しました。訪問入浴サービスセンターは、市内唯一の事業所であることから廃止は困難と判断し、最小限の赤字で事業を継続するための手段等を示しました。

収入の増加を図る取り組みとしては、西部デイサービスセンターでの個別機能訓練加算(Ⅱ)及び認知症加算の取得、西部ケアマネジメントセンターでの特定事業所加算(Ⅱ)から(Ⅰ)への適時変更を行いました。また、東部デイサービスセンターでは個別機能訓練加算(Ⅱ)の取得に向けた利用者への訪問調査を実施し、相談支援事業では丹波市相談支援業務の受託に向けて積極的にアプローチしました。

【高齢者介護サービス（委託事業を含む）】

①指定居宅介護支援事業

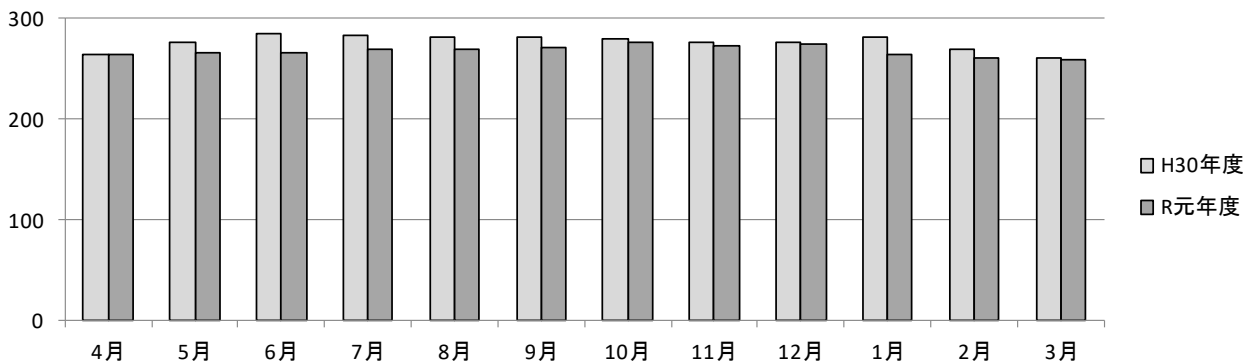
介護を必要とされる方が、自宅で適切にサービスを利用できるように、ケアマネジャー（介護支援専門員）が心身の状況や生活環境、本人・家族の希望等に沿って、ケアプラン（居宅サービス計画）の作成、ケアプランに位置づけたサービスを提供する事業所等との連絡・調整などを行いました。前年度比較件数では、東部ケアマネジメントセンターは101件の減少、西部ケアマネジメントセンターは5件の増加となりました。東部で減少した原因は、再雇用職員が臨時職員となり、勤務時間に合わせた担当件数としたこと、配置人員の調整で新たに介護支援専門員2人を採用し、業務順応期間を設定したことによるものです。介護支援専門員1人当たりの月平均担当件数は、東部29.8件、西部33.0件となりました。事業所の平均稼働率は、東部94.7%、西部97.6%となり、前年度をわずかに下回りました。各事業所の稼働状況には改善の余地があり、事業所の定例会議等を通じて改善に向けた協議を行うなどの取り組みを行いました。

東部ケアマネジメントセンター

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30年度	265	277	285	283	281	281	280	277	276	282	269	260	3,316
R元年度	265	266	266	270	270	271	276	273	275	264	260	259	3,215
差異	0	▲ 11	▲ 19	▲ 13	▲ 11	▲ 10	▲ 4	▲ 4	▲ 1	▲ 18	▲ 9	▲ 1	▲ 101

※職員体制・・・H30年度9名（正規6名・定年後再雇用3名）、R元年度9名（正規5名・定年後再雇用2名・嘱託1名・臨時1名）

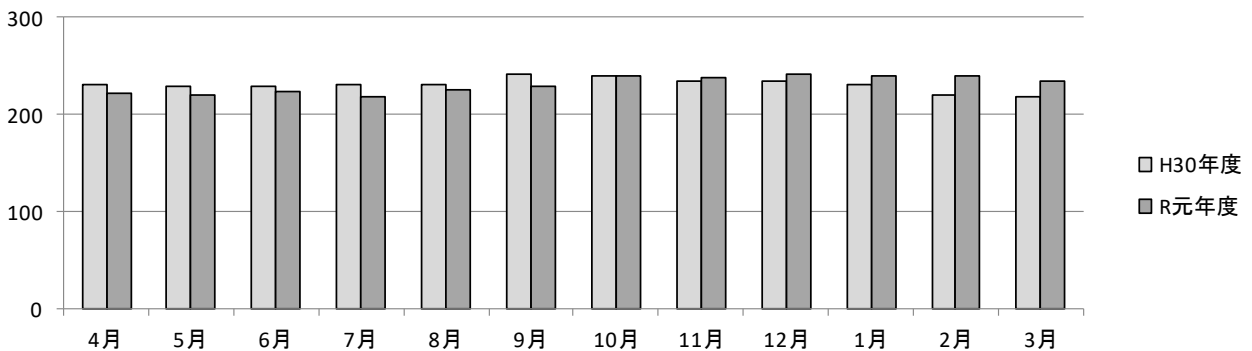


西部ケアマネジメントセンター

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30年度	230	229	228	230	230	241	239	235	234	231	220	218	2,765
R元年度	222	220	223	218	226	229	240	237	242	239	239	235	2,770
差異	▲ 8	▲ 9	▲ 5	▲ 12	▲ 4	▲ 12	1	2	8	8	19	17	5

※職員体制・・・H30年度正規7名、R元年度正規7名



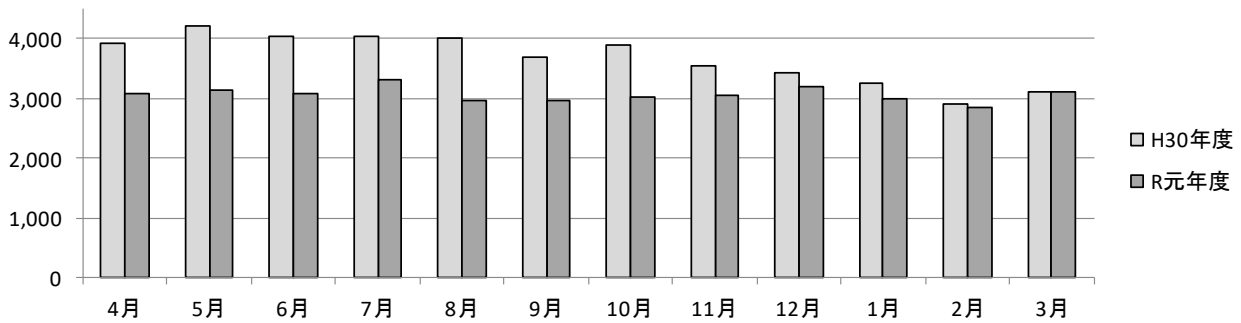
②指定訪問介護事業

ホームヘルパー（訪問介護員）が利用者（要介護1～5）の居宅を訪問して、入浴、排せつ、食事等の介護を行いました。前年度は契約件数の増大から人員の不足を生じ、利用者の新規受付を7ヶ月にわたり停止する事態となったことを踏まえ、常勤職員を増員しましたが、登録訪問介護員の稼働回数の減少など大きく改善することができず、前年度比較のサービス提供回数が7,337回減少しました。また、他の事業の運営の都合上、常勤職員の配置転換などもありました。安定したサービス提供を行うため、職員間の連携を強化するなどの取り組みを行いました。

ホームヘルプセンター

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30年度	3,938	4,204	4,046	4,036	4,023	3,704	3,885	3,553	3,442	3,258	2,923	3,124	44,136
R元年度	3,074	3,147	3,092	3,308	2,967	2,960	3,039	3,065	3,189	3,003	2,840	3,115	36,799
差異	▲ 864	▲ 1,057	▲ 954	▲ 728	▲ 1,056	▲ 744	▲ 846	▲ 488	▲ 253	▲ 255	▲ 83	▲ 9	▲ 7,337



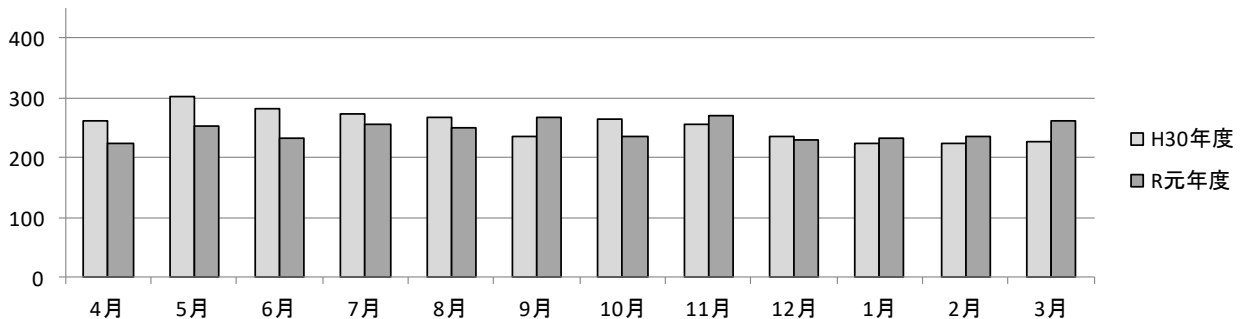
③訪問型サービスA事業

ホームヘルパー（訪問介護員）が利用者（要支援1、2、事業対象者）の居宅を訪問して、調理、洗濯、掃除等の家事を行いました。前年度比較のサービス提供回数では、105回減少しました。

ホームヘルプセンター

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30年度	261	304	282	274	267	237	264	257	235	224	225	227	3,057
R元年度	225	252	233	255	249	267	236	272	231	234	235	263	2,952
差異	▲ 36	▲ 52	▲ 49	▲ 19	▲ 18	30	▲ 28	15	▲ 4	10	10	36	▲ 105



④指定通所介護事業

利用者（要介護1～5）を送迎し、食事、入浴、その他の必要な日常生活上の支援などを日帰りで提

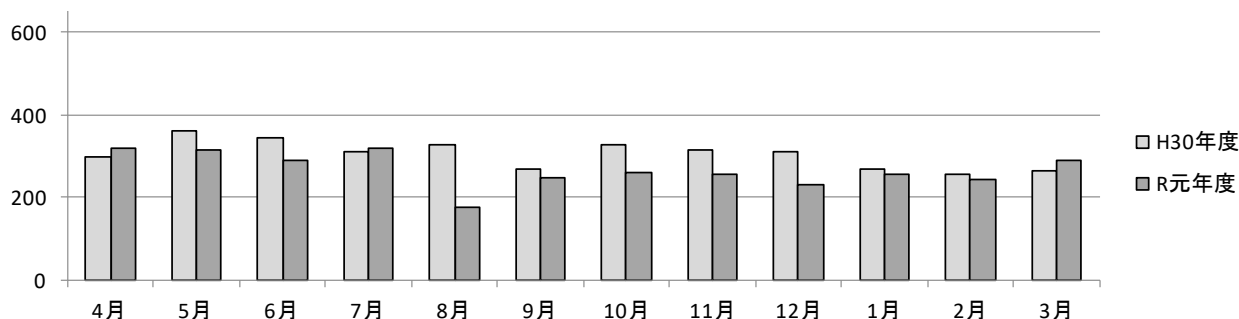
供することにより、利用者の心身機能の維持向上と利用者の家族負担の軽減を図りました。東部デイサービスセンターでは、利用者の死亡事故を発生させました。事故の重大性を推し測り、安全対策の再構築と職員の動揺が治まる期間を見据え、休業期間を設けるなどとあわせて臨時体制の運営を行いました。西部デイサービスセンターでは、個別機能訓練の体制を構築し、個別のリハビリを積極的に実施してその効果を利用者に示すなどの取り組みが利用者の好評価を得ました。

前年度比較のサービス提供回数では、東部は事故後の休止や利用日を減じたことにより 457 回減少、西部は利用者の好評価により 288 回増加しました。職員間の意思疎通を密にするミーティング回数を増やすなどの取り組みも行いました。

東部デイサービスセンター

単位：回

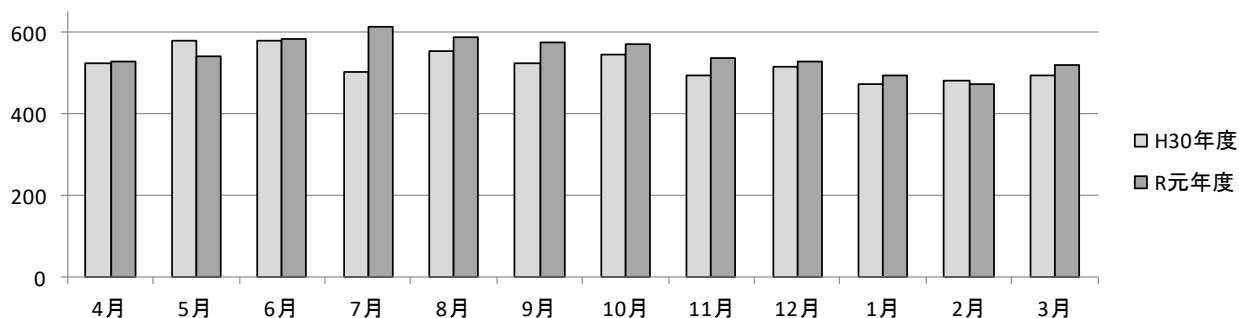
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30年度	300	362	343	311	327	270	328	316	311	271	258	266	3,663
R元年度	318	317	291	318	176	250	261	255	232	257	242	289	3,206
差異	18	▲ 45	▲ 52	7	▲ 151	▲ 20	▲ 67	▲ 61	▲ 79	▲ 14	▲ 16	23	▲ 457



西部デイサービスセンター

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30年度	522	579	577	501	553	523	545	492	516	471	482	493	6,254
R元年度	529	539	583	612	589	573	569	536	527	492	472	521	6,542
差異	7	▲ 40	6	111	36	50	24	44	11	21	▲ 10	28	288



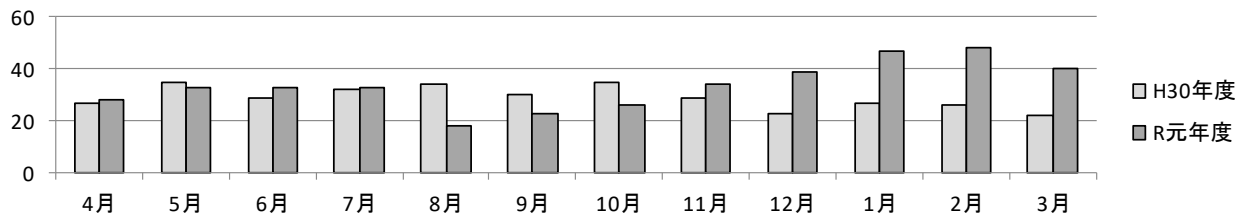
⑤通所型サービスA事業

利用者（要支援1、2、事業対象者）を送迎し、いきいき百歳体操や交流活動などを日帰りで提供することにより、利用者の心身機能の維持向上を図りました。前年度比較のサービス提供回数では、東部デイサービスセンターが53回増加し、西部デイサービスセンターが190回増加しました。西部デイサービスセンターは、火・水・木曜日、定員3名で実施していますが、東部デイサービスセンターは、今年度より月～金曜日、定員5名で実施しています。

東部デイサービスセンター

単位：回

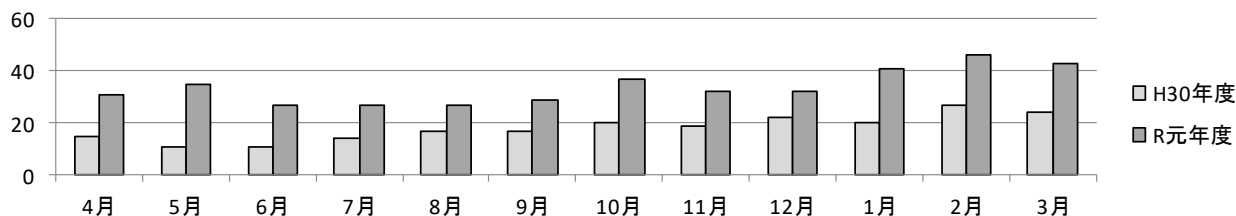
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30年度	27	35	29	32	34	30	35	29	23	27	26	22	349
R元年度	28	33	33	33	18	23	26	34	39	47	48	40	402
差異	1	▲ 2	4	1	▲ 16	▲ 7	▲ 9	5	16	20	22	18	53



西部デイサービスセンター

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30年度	15	11	11	14	17	17	20	19	22	20	27	24	217
R元年度	31	35	27	27	27	29	37	32	32	41	46	43	407
差異	16	24	16	13	10	12	17	13	10	21	19	19	190



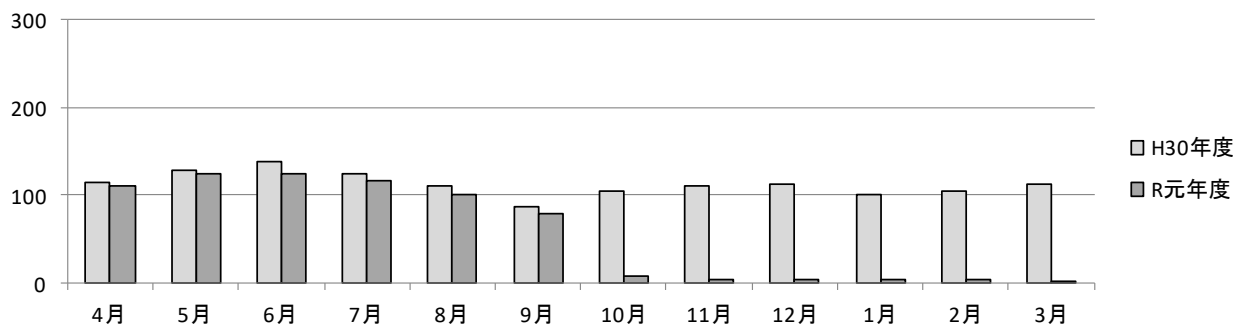
⑥指定認知症対応型通所介護（介護予防認知症対応型通所介護）事業

認知症の利用者を送迎し、入浴、食事等の介護や生活等に関する相談、健康状態の確認などを日帰りで提供することにより、利用者の心身機能の維持向上と利用者の家族負担の軽減を図りました。要支援1、2（介護予防）の利用者は前年度同様に無く、要介護1～5の利用者の前年度比較のサービス提供回数では666回減少しました。短期事業方針による今年度末の廃止が影響しています。また、平均稼働率についても前年度よりさらに低下（29.8%）しました。3月末には全利用者の他事業所等への移行を完了し、閉所式では地元北岡本自治会等に感謝状を贈呈しました。

いちじま憩いの家

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30年度	114	128	139	124	110	88	104	110	113	100	104	113	1,347
R元年度	110	124	125	116	101	80	7	5	4	4	4	1	681
差異	▲ 4	▲ 4	▲ 14	▲ 8	▲ 9	▲ 8	▲ 97	▲ 105	▲ 109	▲ 96	▲ 100	▲ 112	▲ 666



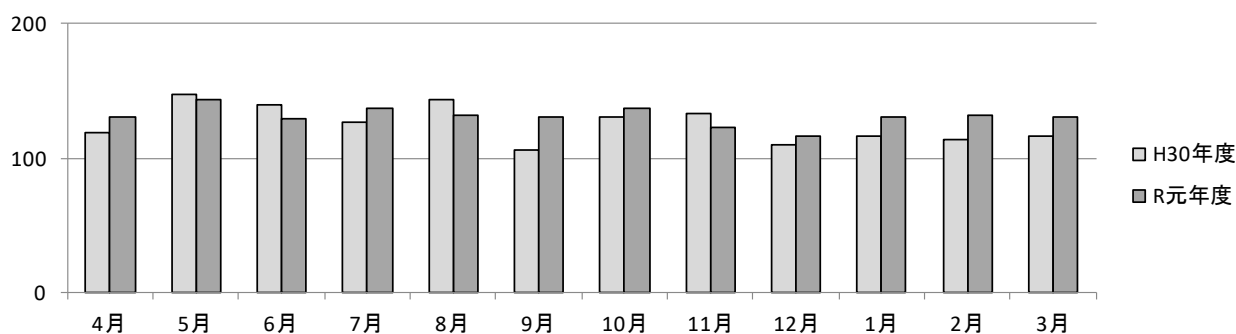
⑦指定訪問入浴介護（介護予防訪問入浴介護）事業

自宅の浴槽での入浴が困難な方に対して、可搬式の浴槽を積んだ入浴車が利用者の居宅を訪問し、看護職員や介護職員が入浴の介護を行いました。要支援1、2（介護予防）の利用者は1件、要介護1～5の前年度比較のサービス提供回数では69回増加しました。平成30年度より介護保険事業等運営計画に基づく東部デイサービスセンターとの職員共有化を試みましたが、デイサービスの臨時介護職員の不足等により相互補完ができず、やむを得ず断念しました。

訪問入浴サービスセンター

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30年度	119	147	140	127	144	106	131	133	110	116	114	116	1,503
R元年度	131	144	129	137	132	131	137	123	116	130	132	130	1,572
差異	12	▲3	▲11	10	▲12	25	6	▲10	6	14	18	14	69

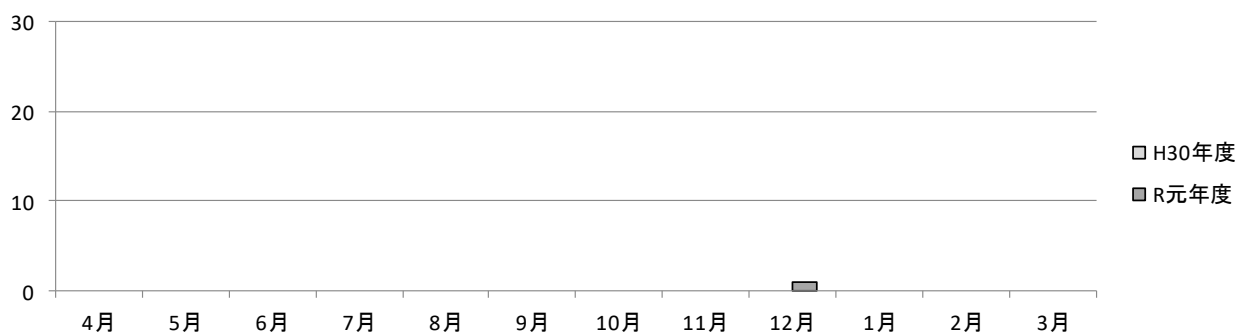


◇介護予防訪問入浴介護事業

訪問入浴サービスセンター

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R元年度	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
差異	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1



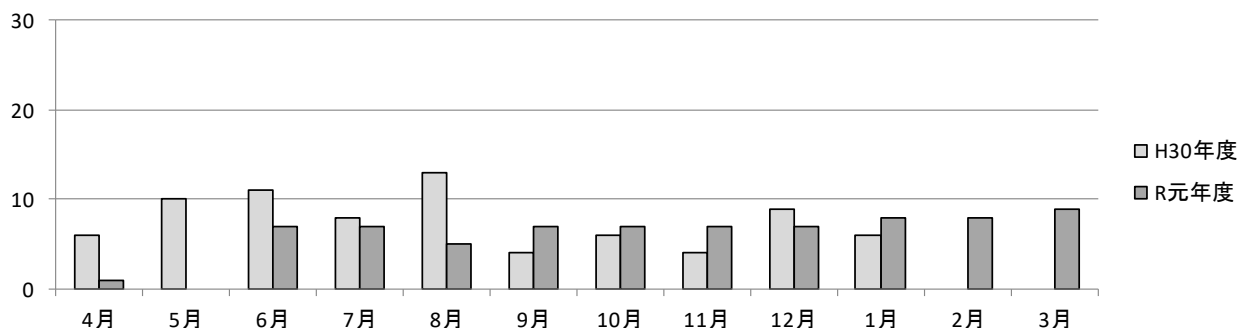
⑧要介護（要支援）認定訪問調査事業（受託事業）

丹波市等からの依頼により、介護認定を受けるための調査票に基づいて、身体の状態や介護されている状況、生活の様子などを聞き取る調査を行いました。前年度比較件数では、東部及び西部ケアマネジメントセンターともに減少し、全体で7件減少（介護支援専門員1人あたり月1.0件）しました。

東部ケアマネジメントセンター

単位：件

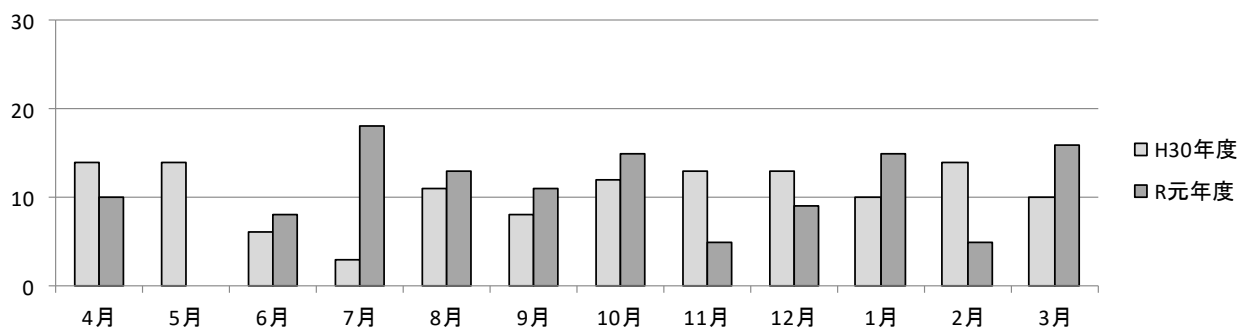
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30年度	6	10	11	8	13	4	6	4	9	6	0	0	77
R元年度	1	0	7	7	5	7	7	7	7	8	8	9	73
差異	▲ 5	▲ 10	▲ 4	▲ 1	▲ 8	3	1	3	▲ 2	2	8	9	▲ 4



西部ケアマネジメントセンター

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30年度	14	14	6	3	11	8	12	13	13	10	14	10	128
R元年度	10	0	8	18	13	11	15	5	9	15	5	16	125
差異	▲ 4	▲ 14	2	15	2	3	3	▲ 8	▲ 4	5	▲ 9	6	▲ 3



⑨介護予防ケアプラン作成事業（受託事業）

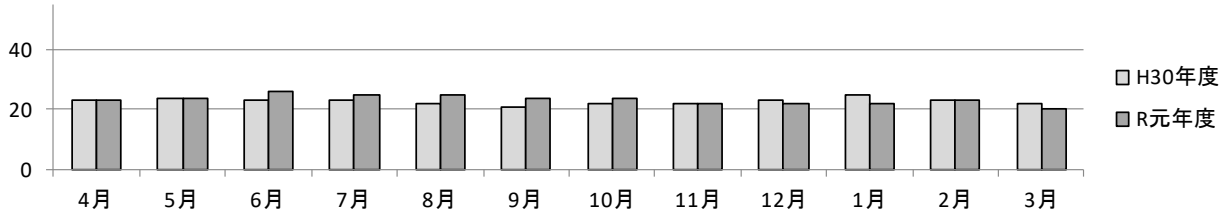
丹波市等からの依頼により、要支援1または要支援2の認定を受けた方が、自宅で介護予防のためのサービスを適切に利用できるよう、ケアプラン（介護予防サービス計画）の作成や、サービス事業所との連絡・調整などを行いました。前年度比較件数（介護予防・日常生活支援総合事業含む）では、東部及び西部ケアマネジメントセンターともに減少し、全体で12件減少（介護支援専門員1人あたり月3.2件）しました。

◇介護予防支援事業（受託事業）

東部ケアマネジメントセンター

単位：件

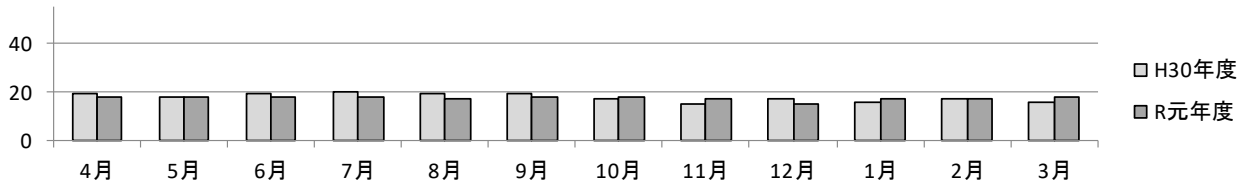
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30年度	23	24	23	23	22	21	22	22	23	25	23	22	273
R元年度	23	24	26	25	25	24	24	22	22	22	23	20	280
差異	0	0	3	2	3	3	2	0	▲ 1	▲ 3	0	▲ 2	7



西部ケアマネジメントセンター

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30年度	19	18	19	20	19	19	17	15	17	16	17	16	212
R元年度	18	18	18	18	17	18	18	17	15	17	17	18	209
差異	▲ 1	0	▲ 1	▲ 2	▲ 2	▲ 1	1	2	▲ 2	1	0	2	▲ 3

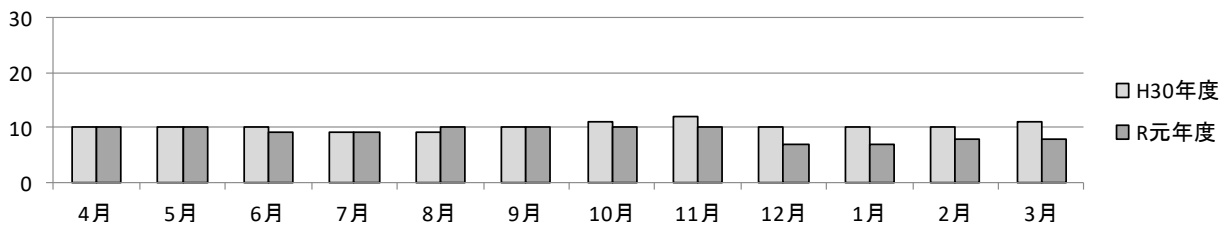


◇介護予防ケアマネジメント事業〔介護予防・日常生活支援総合事業〕（受託事業）

東部ケアマネジメントセンター

単位：件

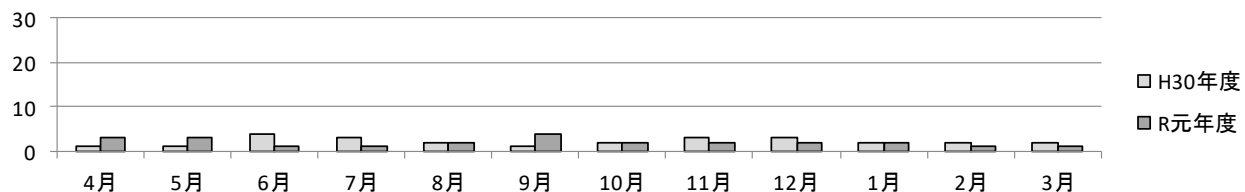
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30年度	10	10	10	9	9	10	11	12	10	10	10	11	122
R元年度	10	10	9	9	10	10	10	10	7	7	8	8	108
差異	0	0	▲ 1	0	1	0	▲ 1	▲ 2	▲ 3	▲ 3	▲ 2	▲ 3	▲ 14



西部ケアマネジメントセンター

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30年度	1	1	4	3	2	1	2	3	3	2	2	2	26
R元年度	3	3	1	1	2	4	2	2	2	2	1	1	24
差異	2	2	▲ 3	▲ 2	0	3	0	▲ 1	▲ 1	0	▲ 1	▲ 1	▲ 2

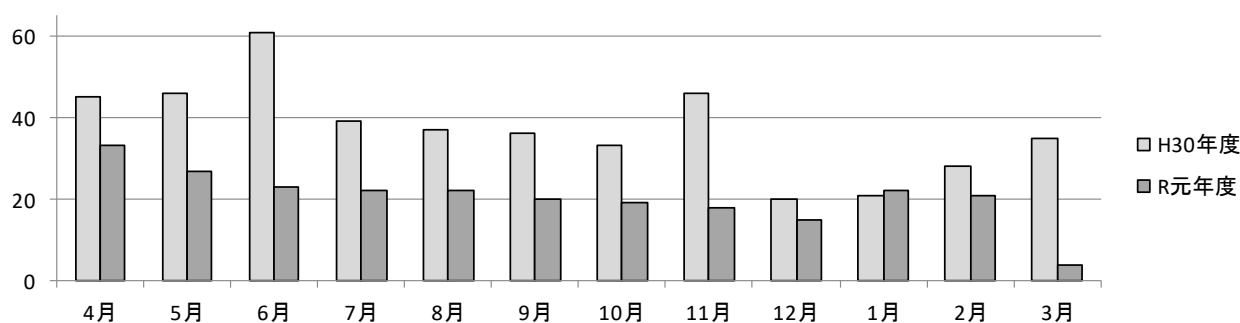


⑩元気アップ広場事業（補助事業）

会場に来られた利用者（介護を必要としない高齢者）に、いきいき百歳体操や交流活動などを日帰りで提供することにより、利用者の心身機能の維持向上を図りました。前年度比較のサービス提供人数では、延べ201名減少しました。利用者の通える範囲にいきいき百歳体操が開設され、移行されたことによるものです。本事業は、平成29年8月から市島地域で毎週金曜日に実施していましたが、丹波市の元気アップ広場事業の今年度末廃止、及び市島地域のいきいき百歳体操の実施団体の増加に伴い、短期事業方針により今年度末に廃止しました。

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30年度	45	46	61	39	37	36	33	46	20	21	28	35	447
R元年度	33	27	23	22	22	20	19	18	15	22	21	4	246
差異	▲ 12	▲ 19	▲ 38	▲ 17	▲ 15	▲ 16	▲ 14	▲ 28	▲ 5	1	▲ 7	▲ 31	▲ 201



⑪丹波市東部地域包括支援センター運営事業（受託事業）

高齢者が住み慣れた地域で安心した生活を続けられるよう、介護や健康、権利擁護等の相談及び支援を行いました。また、介護予防事業等が包括的かつ効果的に実施されるように必要な支援を行いました。高齢者による総合相談は延べ496件、介護予防ケアプランの作成は1,191件（介護支援専門員1人あたり月49.6件）となりました。

◇総合相談件数

新規相談件数	継続相談件数	延べ件数
313	183	496

◇相談者別件数

本人	44
家族	132
関係機関	146
相談協力員	31
介護支援専門員	53
介護保険サービス事業者	7
医療機関	47
その他（いき百サポーター、老人クラブ会員等）	36
合計	496

◇相談内容別件数（重複あり）

介護	20
介護保険サービス	172
高齢福祉サービス	16
医療・健康	13
介護予防・生活支援	46
認知症	88
精神疾患	9
権利擁護	62
関係機関との連携	33

その他（就労、住宅等）	59
合計	518

◇在宅医療・介護連携に関する個別の延べ相談件数 26

◇個別地域ケア会議の延べ開催件数 7

◇事業内容別の延べ件数

いきいき百歳体操のサポート	4
出前講座	4
権利擁護相談	2
もの忘れ外来	2
認知症家族の集い ほっと	1
合計	13

◇会議出席延べ件数 208

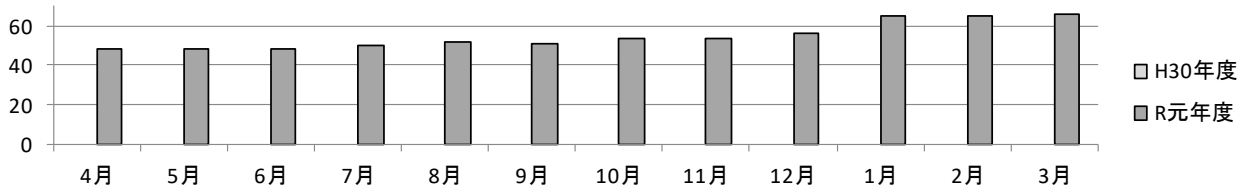
◇研修会出席の延べ件数 77

◇介護予防支援事業

東部地域包括支援センター

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30年度													0
R元年度	48	48	48	50	52	51	54	54	56	65	65	66	657
差異	48	48	48	50	52	51	54	54	56	65	65	66	657

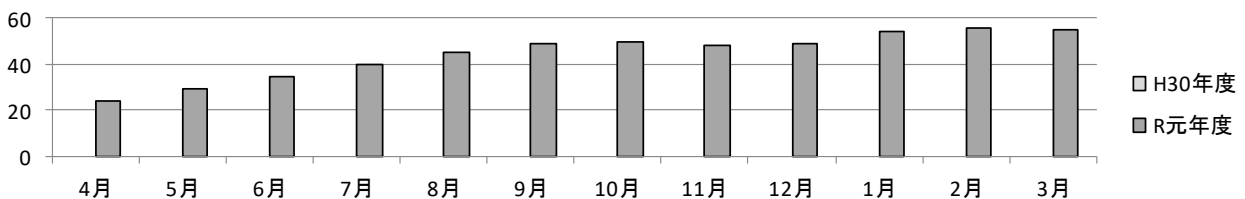


◇介護予防ケアマネジメント事業〔介護予防・日常生活支援総合事業〕

東部地域包括支援センター

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30年度													0
R元年度	24	29	35	40	45	49	50	48	49	54	56	55	534
差異	24	29	35	40	45	49	50	48	49	54	56	55	534



【障がい者介護サービス（委託事業を含む）】

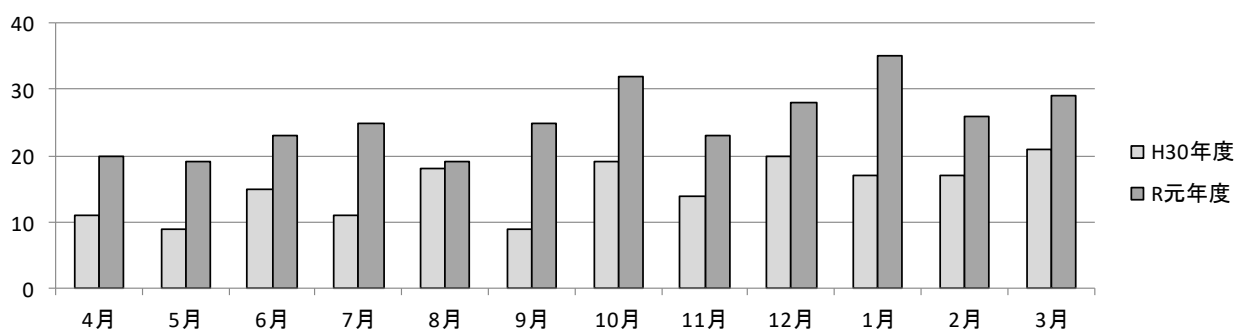
①特定相談支援事業

障がい福祉サービスを必要とされる方に対して、利用申請時のサービス等利用計画案の作成やサービス支給決定後の連絡調整、サービス等利用計画の作成を行い、サービス等利用計画が適切かどうかモニタリング（効果の分析や評価）し、必要に応じて見直しを行いました。前年度比較件数では123件増加となりました。丹波市の障がい者相談支援事業を受託できませんでしたが、新規利用者の獲得に努めました。

相談支援事業所

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30年度	11	9	15	11	18	9	19	14	20	17	17	21	181
R元年度	20	19	23	25	19	25	32	23	28	35	26	29	304
差異	9	10	8	14	1	16	13	9	8	18	9	8	123



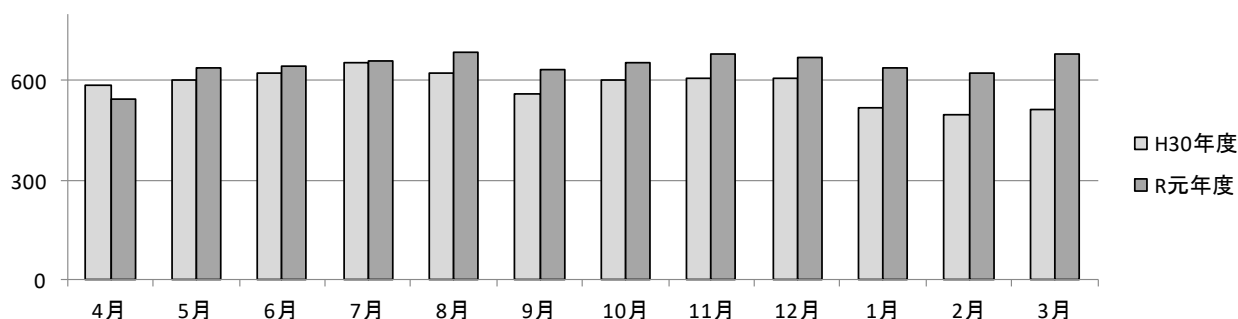
②指定居宅介護事業

ホームヘルパー（訪問介護員）が障がいのある利用者の居宅を訪問して、入浴、排せつ、食事等の介護や調理、洗濯、掃除等の家事、生活等に関する相談や助言などを行いました。前年度比較のサービス提供回数では755回増加しました。

ホームヘルプセンター

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30年度	588	605	624	653	624	561	604	606	610	520	497	512	7,004
R元年度	543	637	646	659	685	636	653	682	673	638	624	683	7,759
差異	▲45	32	22	6	61	75	49	76	63	118	127	171	755



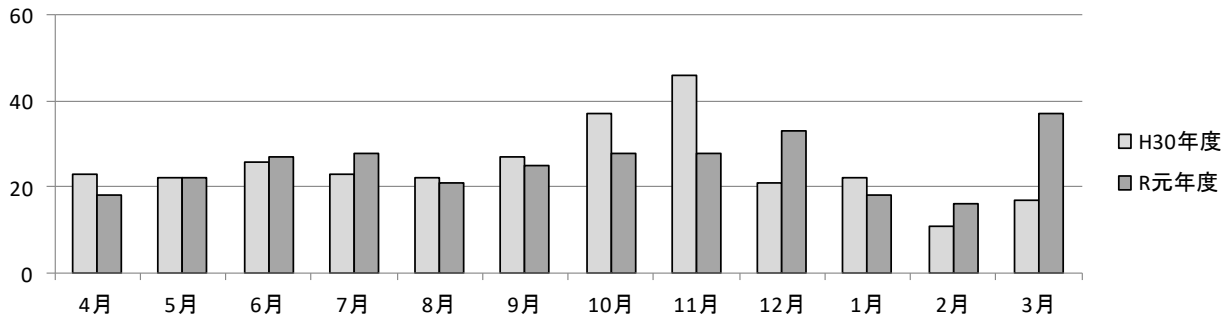
③指定同行援護事業

視覚障がいのある利用者が外出する際に同行し、移動に必要な情報の提供や、移動の援護、排せつ、食事等の介護などを行いました。前年度比較のサービス提供回数では4回増加しました。

ホームヘルプセンター

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30年度	23	22	26	23	22	27	37	46	21	22	11	17	297
R元年度	18	22	27	28	21	25	28	28	33	18	16	37	301
差異	▲ 5	0	1	5	▲ 1	▲ 2	▲ 9	▲ 18	12	▲ 4	5	20	4



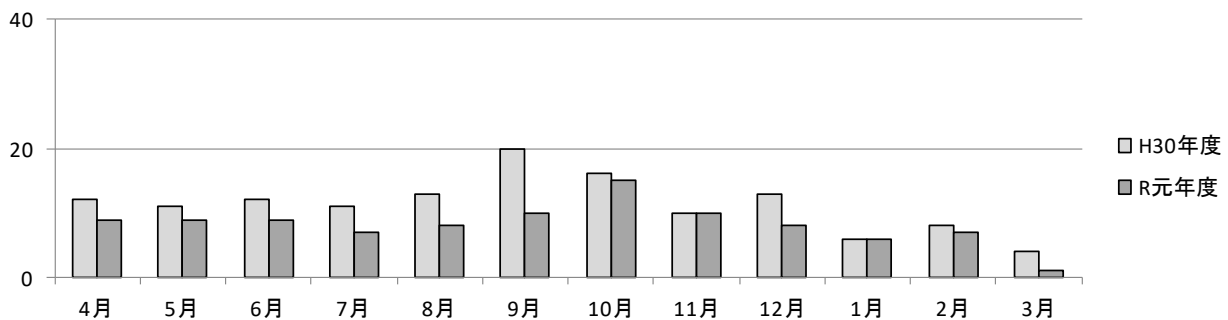
④移動支援事業（受託事業）

屋外での移動が困難な視覚障がい者（児）の地域における自立生活や社会参加を促すため、外出の際の支援を行いました。前年度比較のサービス提供回数では37回減少しました。

ホームヘルプセンター

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30年度	12	11	12	11	13	20	16	10	13	6	8	4	136
R元年度	9	9	9	7	8	10	15	10	8	6	7	1	99
差異	▲ 3	▲ 2	▲ 3	▲ 4	▲ 5	▲ 10	▲ 1	0	▲ 5	0	▲ 1	▲ 3	▲ 37



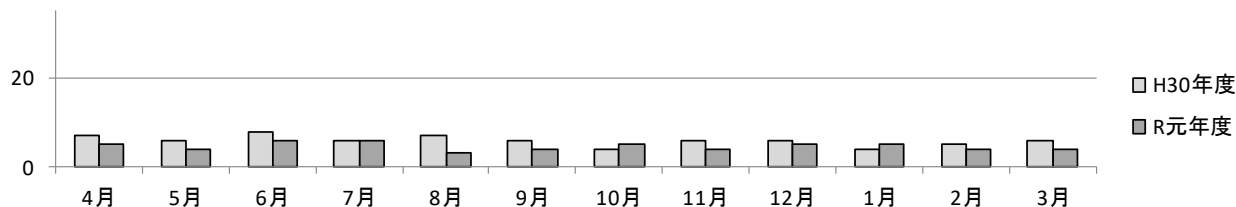
⑤基準該当生活介護事業

障がいのある利用者を送迎し、食事、入浴、その他の必要な日常生活上の支援などを日帰りで提供することにより、利用者の心身機能の維持向上と利用者の家族負担の軽減を図りました。サービス提供回数は、利用登録者の人数に大きく左右され、前年度比較では東部デイサービスセンターが16回減少し、西部デイサービスセンターが136回増加しました。

東部デイサービスセンター

単位：回

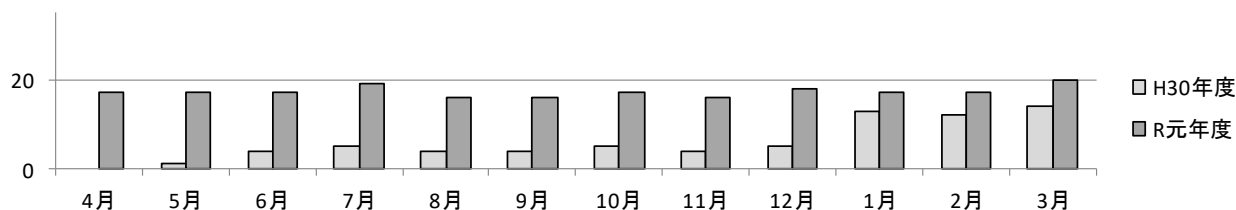
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30年度	7	6	8	6	7	6	4	6	6	4	5	6	71
R元年度	5	4	6	6	3	4	5	4	5	5	4	4	55
差異	▲ 2	▲ 2	▲ 2	0	▲ 4	▲ 2	1	▲ 2	▲ 1	1	▲ 1	▲ 2	▲ 16



西部デイサービスセンター

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30年度	0	1	4	5	4	4	5	4	5	13	12	14	71
R元年度	17	17	17	19	16	16	17	16	18	17	17	20	207
差異	17	16	13	14	12	12	12	12	13	4	5	6	136



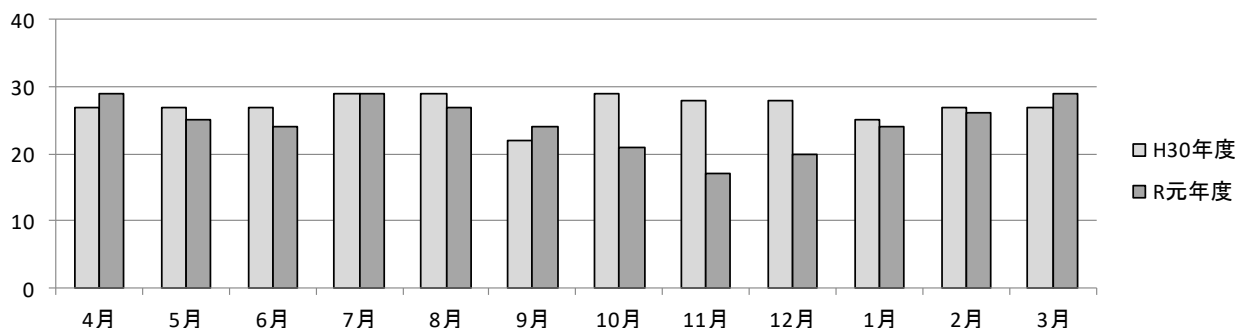
⑥訪問入浴サービス事業（受託事業）

家庭において、入浴が困難な重度障がい者に対して、訪問入浴サービスを行いました。前年度比較のサービス提供回数は30回減少しました。

訪問入浴サービスセンター

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30年度	27	27	27	29	29	22	29	28	28	25	27	27	325
R元年度	29	25	24	29	27	24	21	17	20	24	26	29	295
差異	2	▲ 2	▲ 3	0	▲ 2	2	▲ 8	▲ 11	▲ 8	▲ 1	▲ 1	2	▲ 30



■その他の事業の推進

- ①介護職員初任者研修（補助事業）（前述 19 ページ）
- ②障がい者就労支援事業（受託事業）（前述 8 ページ）

令和元年度事業所別稼働率

東部ケアマネジメントセンター

単位：％

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
H30年度	92.0	96.2	98.0	98.2	95.8	95.3	95.3	94.1	94.1	96.2	91.7	90.4	94.8
R元年度	92.9	93.8	93.9	95.1	95.1	94.9	97.0	96.1	96.5	96.5	91.8	92.6	94.7

西部ケアマネジメントセンター

単位：％

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
H30年度	96.5	96.9	97.8	98.2	97.8	101.8	101.0	98.8	99.2	97.6	93.3	93.3	97.7
R元年度	93.5	93.1	93.9	92.7	95.5	95.5	101.2	99.0	102.0	102.0	101.8	101.2	97.6

東部デイサービスセンター（介護・現行相当：定員18名）

単位：％

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
H30年度	75.7	84.8	79.5	79.4	77.1	76.0	78.2	81.5	78.9	73.2	68.6	64.4	76.4
R元年度	76.9	81.0	72.0	75.0	63.4	79.8	75.9	80.3	75.3	88.9	89.5	87.0	78.8

東部デイサービスセンター（総合事業サービスA：H30/定員3名 R1/定員5名）

単位：％

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
H30年度	52.8	54.8	61.1	59.0	52.4	58.3	57.1	46.2	38.9	38.9	33.3	33.3	48.8
R元年度	7.2	10.8	8.0	7.7	8.2	10.5	13.3	18.0	21.0	26.3	28.9	21.9	15.2

西部デイサービスセンター（介護・現行相当：定員30名）

単位：％

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
H30年度	74.6	75.6	75.4	71.5	73.1	81.8	75.1	71.0	74.9	71.2	73.8	74.1	74.3
R元年度	74.7	79.7	81.3	81.9	82.1	87.3	84.2	78.9	77.6	77.3	75.1	75.2	79.6

西部デイサービスセンター（総合事業サービスA：定員3名）

単位：％

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
H30年度	11.1	20.5	22.2	18.0	23.8	33.3	28.6	30.8	41.7	41.7	52.8	54.6	31.6
R元年度	59.0	66.7	52.8	38.1	36.0	41.7	38.1	44.4	44.4	52.8	72.7	51.3	49.8

いちじま憩いの家

単位：％

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
H30年度	43.2	40.6	48.6	45.1	38.5	34.8	36.4	41.7	42.8	39.5	41.1	41.1	41.1
R元年度	40.0	47.0	45.5	40.6	36.7	31.6	31.1	25.6	18.8	16.9	14.6	9.1	29.8

※居宅介護支援事業は対「標準件数(正規35件、嘱託・定年後再雇用32件、臨時26件)×職員数」

※地域包括支援事業は対「予算件数(50件)×職員数」

※通所介護事業(介護保険・現行相当)は対「定員(東部デイ18名、西部デイ30名、憩い11名)×営業日数」

※総合事業(サービスA)は対「定員(東部デイH30年度3名・R1年度5名、西部デイ3名)×営業日数」

※平成元年度の東部デイサービスセンターは、8月の事故後から3月まで土曜日休業で算出しています。